

エコアクション21 環境経営レポート

2021年度

(活動期間 2021年 5月～2022年 4月)



発行日：2022年 5月



株式
会社

扶桑エンジニアリング



エコアクション21
認証番号 0013377



目次

1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 認証・登録の対象範囲	6
4. 実施体制	7
5. 環境経営目標	9
6. 環境経営目標の達成状況	14
7. 環境経営目標の達成状況とその評価	20
8. 環境経営計画	22
9. 環境経営計画の実施状況とその評価	23
10. 環境経営活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	25
11. 環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無	27
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	28
13. 緊急事態の訓練状況	29
14. 環境活動への取組み	31



////環境経営方針////

経営理念

当社は、建設事業活動を通しての環境保全が重要経営課題と認識し、『自然との調和、よりよい環境を残す』を基本理念と定め、美しい地球を未来の子供たちに残せるよう企業の社会的責任を果たします。

また、環境改善に寄与する技術を積極的に導入することで、循環型社会、環境保全に向けて全社をあげて取り組みます。

環境方針

1. 当社は、事業活動の実態を踏まえ、次の事項に対して重点的に取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 電力使用量を削減します。
 - (3) 廃棄物排出量を削減します。
 - (4) 節水を推進し、水使用量を削減します。
2. 事業に関わる環境関連法規、協定等を遵守します。
3. 全社でICTに取り組むことにより新たな事業を展開します。
4. 将来的に安定した環境経営を実現させるために、社員への教育・訓練等を行い、人材育成及びコスト削減に努め、業務の効率化を図ります。
5. 環境経営の取組みを定期的に評価し、見直し結果に基づき継続的改善を図ります。
6. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、環境維持活動への取組みを推進します。
7. 社員全員に環境方針の周知を図り、環境経営の実効性の向上に努めます。

制定日 2020年 10月 1日

株式会社 扶桑エンジニアリング

代表取締役社長 永添 洋壹

2. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 扶桑エンジニアリング
 代表者氏名 代表取締役 永添洋吉
- 2) 所在地 本社 〒848-0023 伊万里市大坪町丙2110-12
 上古賀倉庫 〒848-0022 伊万里市大坪町乙4716
 永山倉庫 〒848-0021 伊万里市大坪町甲930



- 3) 環境管理責任者 本社 専務取締役 富岡俊法
 担当者 本社 技術部次長 山口繁樹
 連絡先 TEL0955-22-4171. FAX0955-23-5022
 E-mail : office@fuso-eng.co.jp
 HP : <http://www.fuso-eng.co.jp>

- 4) 事業の内容 土木工事業、とび・土工工事業、さく井工事業、地質調査業

- 5) 事業の規模 ・売上高（第46期：令和3年度）458,433,000円

	単位	本社	上古賀倉庫	永山倉庫	合計
従業員数	人	22	2	2	26
床面積	m ²	211.4	652.4	580.9	1,444.7

6) 保有車両及び機械等

【車両】

総務部	軽自動車	1台
営業部	普通車	3台
技術部	普通車	3台
	軽自動車	10台
	ダンプトラック(4t)	1台
	ダンプトラック(2t)	1台
	ユニック車(7t)	1台
	ユニック車(3t)	2台

【主要機械】

バックホウ(0.1m ³)	1台
バックホウ(0.2m ³)	2台
ボーリングマシン (5.5kw級)	3台
ボーリングマシン (55kw級)	2台
吹付機械	2台
杭打機	2台

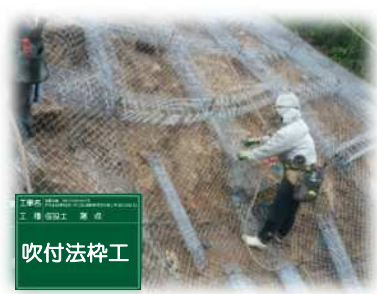
7) 会社沿革

社名	株式会社 扶桑エンジニアリング	
資本金	20,000,000円	
創立	昭和26年 9月	旭試錐
	昭和33年 8月	扶桑試錐工業
	昭和46年 5月	扶桑試錐工業有限会社
	昭和51年12月	株式会社扶桑エンジニアリング
登録	建設工事	(特-2)第3286号
	測量業	第(7)16807号
	地質調査業	(質29)第385号
	建設コンサルタント	(建01)第6624号

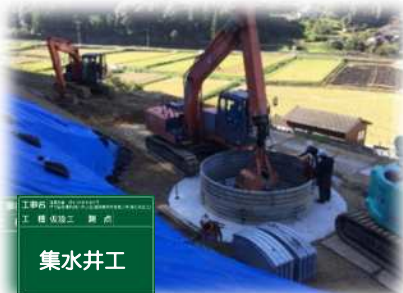
土木工事



法面保護工事



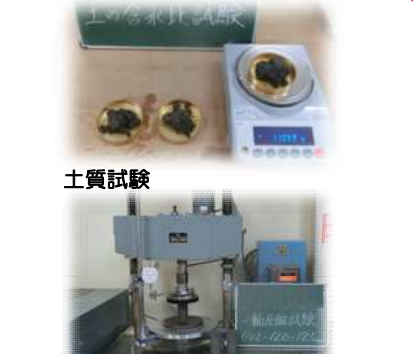
地すべり対策工事



落石防止工事



地質調査



土木工事



護岸工



道路工



橋梁工

法面保護工事



法枠工



法枠工 植生基材吹付工



簡易法枠工

地すべり対策工事



地下水排除工



集水井工



アンカー工

落石防止工事



落石防護柵工



ロックネット工



ロープ伏工

3. 認証・登録の対象範囲

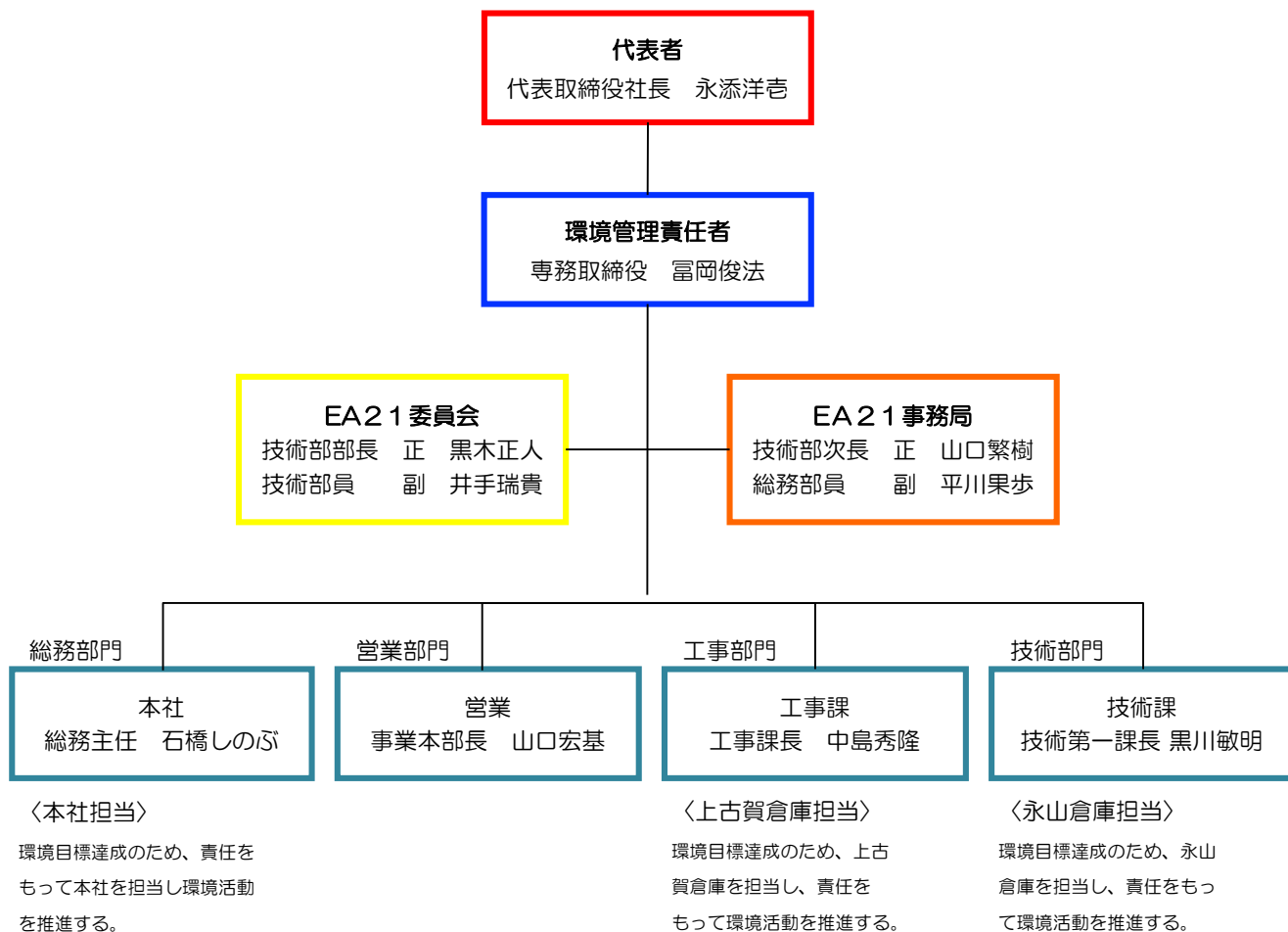
- (1) 対象組織 本社
 上古賀倉庫
 永山倉庫

- (2) 対象活動 土木工事業、とび・土工工事業、さく井工事業、
 地質調査業

- (3) 対象外事業所 無（全組織・全活動を対象とする）

4. 実施体制

EA21 実施体制



《役割・責任・権限》

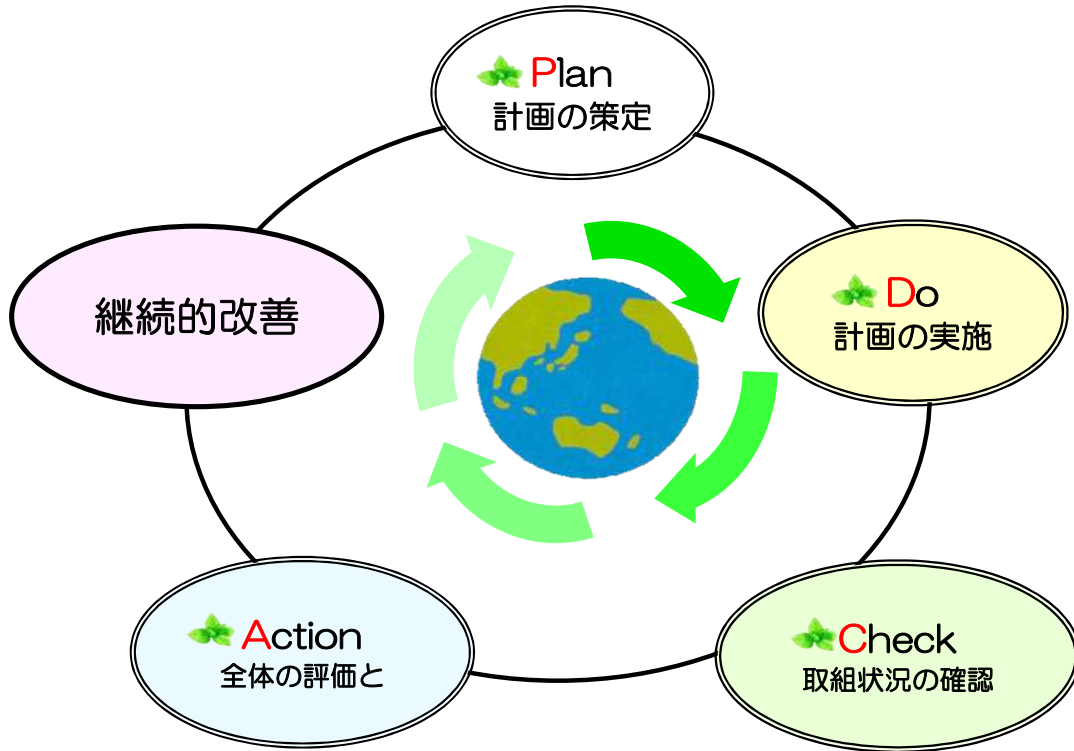
所 属	内 容
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 環境方針を作成し見直しなど従業員に周知する。 環境管理責任者及びEA21事務局員を任命する。 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する。 EA21全体の取組状況に関し評価及び見直しを指示する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行するなど環境実績を向上させる。 環境目標及び環境活動計画を作成する。 3カ月毎にEA21委員会を開催して、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を確認・評価する。 社内全体に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3カ月毎に委員会を開催し、環境目標の達成状況や活動計画の実施状況を審議する。 問題点が発生した場合は、必要な是正処置を検討する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。 環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 自部門に関連する法規制等を遵守する。 自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められた担当の役割や責任を理解し、自から積極的に環境活動へ参加する。



環境マネジメントサイクル



- 当社では環境経営を推進していくため、毎年、“環境活動計画”を立て、1年毎に取組状況の確認と見直しを行い、エコアクション21委員会メンバーを中心に、“継続的な運営と改善”を目指し、全社員で取り組んでいます。
- 取組状況については『環境経営レポート』としてまとめています。



【環境経営のPDCAサイクル】

	計画の策定		担当責任者	対象
	Plan	1	取り組みの対象組織・活動の明確化	EA21委員会
2		環境方針の策定	社長	各現場・事務所
3		環境負荷と環境への取り組み状況の把握及び評価	EA21委員会	各現場・事務所
4		環境関連法規等の取りまとめ	EA21委員会	各現場・事務所
5		環境目標及び環境活動計画の策定	EA21委員会	各現場・事務所
	計画の実施		担当責任者	対象
	Do	6	実施体制の構築	EA21委員会
7		教育・訓練の実施	各部門長	全社員・協力業者
8		環境コミュニケーションの実施	各部門長	全社員
9		環境上の緊急事態への準備及び対応	EA21委員会	各現場・事務所
10		環境関連文書及び記録の作成・管理	EA21事務局	各現場・事務所
Check	取組状況の確認及び評価		担当責任者	対象
	11	取組状況の確認ならびに問題の是正及び予防	環境管理責任者 EA21委員会	各現場・事務所
Action	全体の評価と見直し		担当責任者	対象
	12	代表者による全体の評価と見直し	社長	各現場・事務所
			環境管理責任者	
13	環境レポートの作成	EA21事務局	各現場・事務所	

5. 環境経営目標

当社の削減目標は次のとおりで、前年度比1%削減を目指します。

全 社						
項 目	単位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
			2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
		2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
1.二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	58,324	57,741	57,158	56,574	55,991
	kg - CO ₂ /百万円	167.6	165.9	164.2	162.6	160.9
2.電気使用量の削減	kWh	24,307.0	24,063.9	23,820.9	23,577.8	23,334.7
	kWh/百万円	69.8	69.1	68.5	67.8	67.1
3.ガソリン使用量の削減	L	10,962.7	10,853.1	10,743.4	10,633.8	10,524.2
	L/百万円	31.5	31.2	30.9	30.6	30.2
4.軽油使用量の削減	L	9,206.5	9,114.4	9,022.4	8,930.3	8,838.2
	L/百万円	26.5	26.2	25.9	25.7	25.4
5.灯油使用量の削減	L	48.0	47.5	47.0	46.6	46.1
	L/百万円	0.14	0.14	0.14	0.13	0.13
6.液化石油ガス(LPG)使用量の削減	kg	8.0	7.9	7.8	7.8	7.7
	kg/百万円	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
7.水道水使用量の削減	m ³	141.0	139.6	138.2	136.8	135.4
	m ³ /百万円	0.41	0.40	0.40	0.39	0.39
8.地下水使用量の削減	m ³	53.4	52.9	52.3	51.8	51.3
	m ³ /百万円	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
9.一般廃棄物排出量の削減	m ³	23.2	23.0	22.7	22.5	22.3
	m ³ /百万円	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06
10.産業廃棄物排出量の削減	m ³	872.2	863.5	854.8	846.0	837.3
	m ³ /百万円	2.51	2.48	2.46	2.43	2.41
11.各現場における顧客・第三者クレームゼロ化	件	0	0	0	0	0
12.地域貢献活動の推進	回	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施
13.環境教育の推進	回	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施
期間内の売上高	百万円	348.0				

備 考

- すべての使用量、排出量の目標値は、売上高あたりの原単位により設定した。
- 購入電力の二酸化炭素排出係数は、5月～10月まで0.479kg-CO₂/kWh（九州電力 2020年度・調整後）を使用、11月～4月まで0.439kg-CO₂/kWh（九州エナジー 2020年度・調整後）を使用した。
- 燃料の排出係数は、環境省温室効果ガス排出係数一覧より使用した。
- 液化石油ガス(LPG)については、2020年度の数値を目標値とする。

1 二酸化炭素排出量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標		中長期目標	
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本 社	kg - CO ₂	6,543	6,478	6,412	6,347	6,281	
	kg - CO ₂ /百万円	18.8	18.6	18.4	18.2	18.0	
上古賀倉庫	kg - CO ₂	2,095	2,074	2,053	2,032	2,011	
	kg - CO ₂ /百万円	6.0	6.0	5.9	5.8	5.8	
永山倉庫	kg - CO ₂	3,251	3,218	3,186	3,153	3,121	
	kg - CO ₂ /百万円	9.3	9.2	9.2	9.1	9.0	
各 現 場	kg - CO ₂	46,435	45,971	45,506	45,042	44,578	
	kg - CO ₂ /百万円	133.4	132.1	130.8	129.4	128.1	
合 計	kg - CO ₂	58,324	57,741	57,158	56,574	55,991	
	kg - CO ₂ /百万円	167.6	165.9	164.2	162.6	160.9	

2 電気使用量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標		中長期目標	
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本 社	kWh	14,985.0	14,835.2	14,685.3	14,535.5	14,385.6	
	kWh/百万円	43.1	42.6	42.2	41.8	41.3	
上古賀倉庫	kWh	2,504.0	2,479.0	2,453.9	2,428.9	2,403.8	
	kWh/百万円	7.2	7.1	7.1	7.0	6.9	
永山倉庫	kWh	5,716.0	5,658.8	5,601.7	5,544.5	5,487.4	
	kWh/百万円	16.4	16.3	16.1	15.9	15.8	
各 現 場	kWh	1,102.0	1,091.0	1,080.0	1,068.9	1,057.9	
	kWh/百万円	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	
合 計	kWh	24,307.0	24,063.9	23,820.9	23,577.8	23,334.7	
	kWh/百万円	69.8	69.1	68.5	67.8	67.1	

3 ガソリン使用量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標		中長期目標	
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本社	L	413.4	409.3	405.1	401.0	396.9	
	L/百万円	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	
上古賀倉庫	L	352.4	348.9	345.4	341.8	338.3	
	L/百万円	1.01	1.00	0.99	0.98	0.97	
永山倉庫	L	487.0	482.1	477.3	472.4	467.5	
	L/百万円	1.40	1.39	1.37	1.36	1.34	
各現場	L	9,709.9	9,612.8	9,515.7	9,418.6	9,321.5	
	L/百万円	27.9	27.6	27.3	27.1	26.8	
合 計	L	10,962.7	10,853.1	10,743.4	10,633.8	10,524.2	
	L/百万円	31.5	31.2	30.9	30.6	30.2	

4 軽油 使用量の 削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標		中長期目標	
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
上古賀倉庫	L	98.0	97.0	96.0	95.1	94.1	
	L/百万円	0.28	0.28	0.28	0.27	0.27	
永山倉庫	L	—	—	—	—	—	
	L/百万円	—	—	—	—	—	
各現場	L	9,108.5	9,017.4	8,926.3	8,835.2	8,744.2	
	L/百万円	26.2	25.9	25.7	25.4	25.1	
合 計	L	9,206.5	9,114.4	9,022.4	8,930.3	8,838.2	
	L/百万円	26.5	26.2	25.9	25.7	25.4	

5 灯油 使用量の 削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標		中長期目標	
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本 社	L	10.0	9.9	9.8	9.7	9.6	
	L/百万円	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
上古賀倉庫	L	38.0	37.6	37.2	36.9	36.5	
	L/百万円	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	
永山倉庫	L	—	—	—	—	—	
	L/百万円	—	—	—	—	—	
各現場	L	—	—	—	—	—	
	L/百万円	—	—	—	—	—	
合 計	L	48.0	47.5	47.0	46.6	46.1	
	L/百万円	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	

6 液化石油ガス （LPG） 使用量の 削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標		中長期目標	
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
上古賀倉庫	kg	8.0	7.9	7.8	7.8	7.7	
	kg/百万円	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
永山倉庫	kg	—	—	—	—	—	
	kg/百万円	—	—	—	—	—	
各現場	kg	—	—	—	—	—	
	kg/百万円	—	—	—	—	—	
合 計	kg	8.0	7.9	7.8	7.8	7.7	
	kg/百万円	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	

7 水道水使用量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本 社	m ³	83.0	82.2	81.3	80.5	79.7	
	m ³ /百万円	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23	
上 古 賀 倉 庫	m ³	12.0	11.9	11.8	11.6	11.5	
	m ³ /百万円	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
永 山 倉 庫	m ³	46.0	45.5	45.1	44.6	44.2	
	m ³ /百万円	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	
各 現 場	m ³	—	—	—	—	—	
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—	
合 計	m ³	141.0	139.6	138.2	136.8	135.4	
	m ³ /百万円	0.41	0.40	0.40	0.39	0.39	

8 地下水使用量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
上 古 賀 倉 庫	m ³	53.4	52.9	52.3	51.8	51.3	
	m ³ /百万円	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
各現場	m ³	—	—	—	—	—	
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—	
合 計	m ³	53.4	52.9	52.3	51.8	51.3	
	m ³ /百万円	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	

9 一般廃棄物排出量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本 社	m ³	23.2	23.0	22.7	22.5	22.3	
	m ³ /百万円	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	
上 古 賀 倉 庫	m ³	—	—	—	—	—	
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—	
永 山 倉 庫	m ³	—	—	—	—	—	
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—	
各 現 場	m ³	—	—	—	—	—	
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—	
合 計	m ³	23.2	23.0	22.7	22.5	22.3	
	m ³ /百万円	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	

10 産業廃棄物排出量の削減	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
上古賀倉庫	m ³	37.4	37.0	36.7	36.3	35.9	
	m ³ /百万円	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	
永山倉庫	m ³	—	—	—	—	—	
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—	
各現場	m ³	834.8	826.5	818.1	809.8	801.4	
	m ³ /百万円	2.40	2.37	2.35	2.33	2.30	
合 計	m ³	872.2	826.5	818.1	809.8	801.4	
	m ³ /百万円	2.51	2.37	2.35	2.33	2.30	

11 各現場における第三者への顧客・化	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本社	件	0	0	0	0	0	
上古賀倉庫	件	0	0	0	0	0	
永山倉庫	件	0	0	0	0	0	
各現場	件	0	0	0	0	0	
合 計	件	0	0	0	0	0	

12 地域貢献活動の推進	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本 社	回	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	
合 計	回	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	年 3回実施	

13 環境教育の推進	区 分	単 位	基準年 2020年度	単年度目標	中長期目標		
				2021年度 1%削減	2022年度 2%削減	2023年度 3%削減	2024年度 4%削減
			2020.5~ 2021.4	2021.5~ 2022.4	2022.5~ 2023.4	2023.5~ 2024.4	2024.5~ 2025.4
本社	回	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	
合 計	回	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	年 12回実施	

6. 環境経営目標の達成状況

◆全社

目標達成率 **1%削減**

項目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
1.二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	58,324	57,740	85,624	52%	×
	kg - CO ₂ /百万円	167.6	165.9	186.8	87%	△
2.電気使用量の削減	kWh	24,307.0	24,063.9	27,539.0	86%	△
	kWh/百万円	69.8	69.1	60.1	113%	○
3.ガソリン使用量の削減	L	10,962.7	10,853.1	13,269.7	78%	×
	L/百万円	31.5	31.2	28.9	107%	○
4.軽油使用量の削減	L	9,206.5	9,114.4	16,266.1	22%	×
	L/百万円	26.46	26.2	35.5	65%	×
5.灯油使用量の削減	L	48.0	47.5	132.0	-78%	×
	L/百万円	0.14	0.14	0.3	-11%	×
6.液化石油ガス(LPG)使用量の削減	kg	8.0	7.9	0	200%	◎
	kg/百万円	0.02	0.02	0	200%	◎
7.水道水使用量の削減	m ³	141.0	139.6	133.0	105%	○
	m ³ /百万円	0.41	0.40	0.3	128%	◎
8.地下水使用量の削減	m ³	53.4	52.9	207.9	-193%	×
	m ³ /百万円	0.15	0.15	0.5	-99%	×
9.一般廃棄物排出量の削減	m ³	23.2	23.0	20.8	109%	○
	m ³ /百万円	0.07	0.07	0.05	131%	◎
10.産業廃棄物排出量の削減	m ³	872.2	863.5	2,205.4	-55%	×
	m ³ /百万円	2.51	2.48	4.8	6%	×
11.各現場における顧客・ 第三者クレームゼロ化	回	0	0	1	0%	×
12.地域貢献活動の推進	回	期間中 3回実施	期間中 3回実施	3	100%	○
13.環境教育の推進	回	期間中 12回実施	期間中 12回実施	12	100%	○

期間内の売上高	百万円	348.0		458.4		
---------	-----	-------	--	-------	--	--

備考

- (1) すべての使用量、排出量の目標値は、売上高あたりの原単位により設定した。
- (2) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、5月~10月まで0.479kg-CO₂/kWh（九州電力 2020年度・調整後）を使用、11月~4月まで0.439kg-CO₂/kWh（九州エナジー 2020年度・調整後）を使用した。
- (3) 燃料の排出係数は、環境省温室効果ガス排出係数一覧より使用した。
- (4) 液化石油ガス(LPG)については、2020年度の数値を目標値とする。
- (5) 達成率：（目標値-実測値）/目標値+1

達成状況判定区分
◎：120%以上
○：100%以上120%未満
△：80%以上100%未満
×：80%未満

◆二酸化炭素排出量の削減

目標達成率 1%削減

区 分	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	kg - CO ₂	6,543	6,478	7,772	80%	△
	kg - CO ₂ /百万円	18.8	18.6	17.0	109%	○
上 古 賀 倉 庫	kg - CO ₂	2,095	2,074	2,312	89%	△
	kg - CO ₂ /百万円	6.0	6.0	5.0	116%	○
永 山 倉 庫	kg - CO ₂	3,251	3,218	4,966	46%	×
	kg - CO ₂ /百万円	9.3	9.2	10.8	83%	△
各 現 場	kg - CO ₂	46,435	45,970	70,574	46%	×
	kg - CO ₂ /百万円	133.4	132.1	153.9	83%	△

◆電気使用量の削減

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	kWh	14,985.0	14,835.2	14,961.0	99%	△
	kWh/百万円	43.1	42.6	32.6	124%	◎
上 古 賀 倉 庫	kWh	2,504.0	2,479.0	2,255.0	109%	○
	kWh/百万円	7.2	7.1	4.9	131%	◎
永 山 倉 庫	kWh	5,716.0	5,658.8	6,362.0	88%	△
	kWh/百万円	16.4	16.3	13.9	115%	○
各 現 場	kWh	1,102.0	1,091.0	3,961.0	-163%	×
	kWh/百万円	3.2	3.1	8.6	-74%	×

◆ガソリン使用料の削減

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	L	413.4	409.3	412.3	99%	△
	L/百万円	1.2	1.2	0.9	123%	◎
上 古 賀 倉 庫	L	352.4	348.9	327.0	106%	○
	L/百万円	1.01	1.0	0.7	130%	◎
永 山 倉 庫	L	487.0	482.1	888.0	16%	×
	L/百万円	1.40	1.39	1.9	63%	×
各 現 場	L	9,709.9	9,612.8	11,642.4	79%	×
	L/百万円	27.9	27.6	25.4	108%	○

備 考

- (1) すべての使用量、排出量の目標値は、売上高あたりの原単位により設定した。
- (2) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、5月~10月まで0.479kg-CO₂/kWh（九州電力 2020年度・調整後）を使用、11月~4月まで0.439kg-CO₂/kWh（九州エナジー 2020年度・調整後）を使用した。
- (3) 燃料の排出係数は、環境省温室効果ガス排出係数一覧より使用した。
- (4) 達成率：（目標値-実測値）/目標値+1

達成状況判定区分
◎：120%以上
○：100%以上120%未満
△：80%以上100%未満
×：80%未満

◆軽油使用量の削減

目標達成率 1%削減

項目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
上古賀倉庫	L	98.0	97.0	201.0	-7%	×
	L/百万円	0.28	0.28	0.4	57%	×
永山倉庫	L	-	-	-	-	-
	L/百万円	-	-	-	-	-
各現場	L	9,108.5	9,017.4	16,065.1	22%	×
	L/百万円	26.2	25.9	35.0	65%	×

◆灯油使用量の削減

目標達成率 1%削減

項目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本社	L	10.0	9.9	10.0	99%	△
	L/百万円	0.03	0.03	0.02	130%	◎
上古賀倉庫	L	38.0	37.6	0	200%	◎
	L/百万円	0.11	0.11	0	200%	◎
永山倉庫	L	-	-	-	-	-
	L/百万円	-	-	-	-	-
各現場	L	0	0	122.0	0%	×
	L/百万円	0	0	0.3	0%	×

◆液化石油ガス(LPG)使用量の削減

目標達成率 1%削減

項目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
上古賀倉庫	kg	8.0	7.9	0	200%	◎
	kg/百万円	0.02	0.02	0	200%	◎
永山倉庫	kg	-	-	-	-	-
	kg/百万円	-	-	-	-	-
各現場	kg	-	-	-	-	-
	kg/百万円	-	-	-	-	-

備考

- (1) すべての使用量、排出量の目標値は、売上高あたりの原単位により設定した。
- (2) 燃料の排出係数は、環境省温室効果ガス排出係数一覧より使用した。
- (3) 液化石油ガス(LPG)については、2020年度の数値を目標値とする。
- (4) 達成率：(目標値-実測値)/目標値+1

達成状況判定区分

- ◎：120%以上
○：100%以上120%未満
△：80%以上100%未満
×：80%未満

◆水道水使用量の削減

目標達成率 1%削減

区 分	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	m ³	83.0	82.2	75.0	109%	○
	m ³ /百万円	0.24	0.24	0.16	132%	◎
上古賀倉庫	m ³	12.0	11.9	33.0	-78%	×
	m ³ /百万円	0.03	0.03	0.07	-5%	×
永山倉庫	m ³	46.0	45.5	25.0	145%	◎
	m ³ /百万円	0.13	0.13	0.05	162%	◎
各 現 場	m ³	—	—	—	—	—
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—

◆地下水使用量の削減

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
上古賀倉庫	m ³	53.4	52.9	58.3	90%	△
	m ³ /百万円	0.15	0.2	0.1	134%	◎
各 現 場	m ³	0	0	149.6	0%	×
	m ³ /百万円	0	0	0.3	0%	×

◆一般廃棄物排出量の削減

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	m ³	23.2	23.0	20.8	109%	○
	m ³ /百万円	0.07	0.07	0.05	124%	◎
上古賀倉庫	m ³	—	—	—	—	—
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—
永山倉庫	m ³	—	—	—	—	—
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—
各 現 場	m ³	—	—	—	—	—
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—

備 考

(1) すべての使用量、排出量の目標値は、売上高あたりの原単位により設定した。

(2) 達成率：(目標値-実測値)/目標値+1

達成状況判定区分

◎：120%以上
○：100%以上120%未満
△：80%以上100%未満
×：80%未満

◆産業廃棄物排出量の削減

目標達成率 1%削減

区 分	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
上古賀倉庫	m ³	37.4	37.0	41.8	87%	△
	m ³ /百万円	0.11	0.11	0.09	115%	○
永山倉庫	m ³	—	—	—	—	—
	m ³ /百万円	—	—	—	—	—
各現場	m ³	834.8	826.5	2,163.6	-62%	×
	m ³ /百万円	2.40	2.37	4.7	2%	×

◆各現場における顧客・第三者クレーム0化

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	件	0	0	0	—	◎
上古賀倉庫	件	0	0	0	—	◎
永山倉庫	件	0	0	0	—	◎
各現場	件	0	0	1	0%	×

◆地域貢献活動の推進

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	回	期間中 3回実施	3	3	100%	○

◆環境教育の推進

目標達成率 1%削減

項 目	単位	基準年 2020年度 20.5~21.4	2021年度 2021年5月~2022年4月			
			目標値	実績値	達成率	達成状況
本 社	回	期間中 12回実施	12	12	100%	○

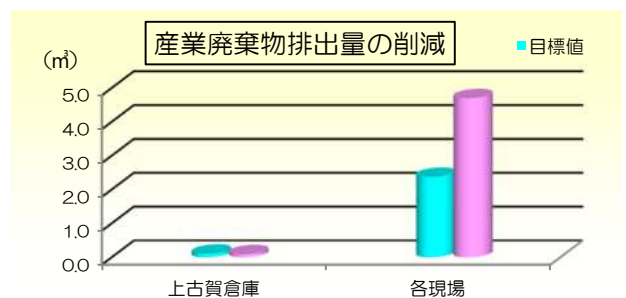
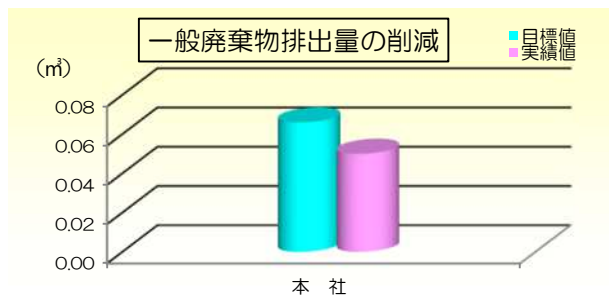
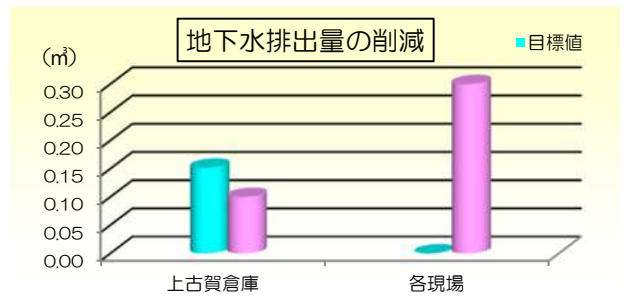
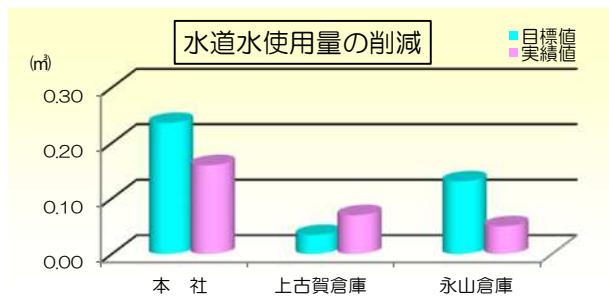
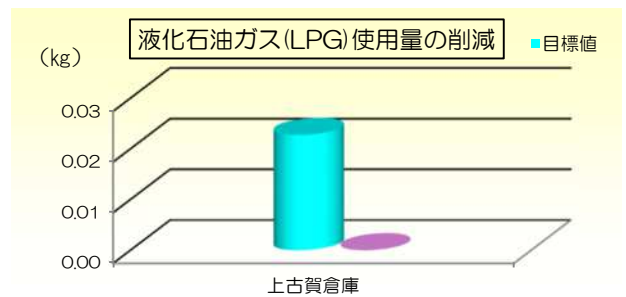
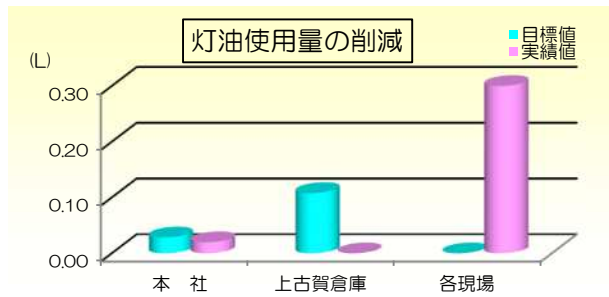
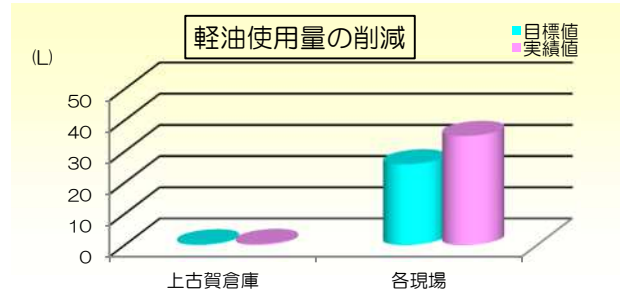
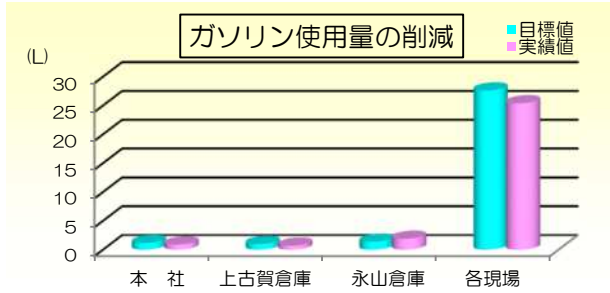
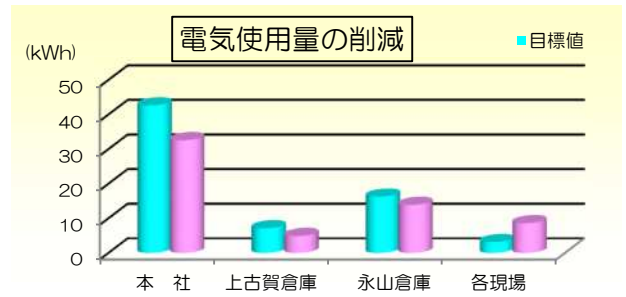
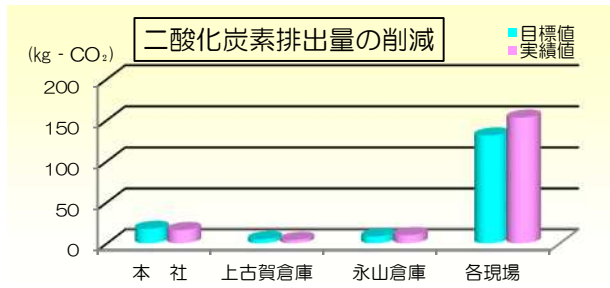
備 考

(1) すべての使用量、排出量の目標値は、売上高あたりの原単位により設定した。

(2) 達成率：(目標値-実測値)/目標値+1

達成状況判定区分
◎：120%以上
○：100%以上120%未満
△：80%以上100%未満
×：80%未満

環境経営目標の実績グラフ



(売上高百万円当り)	全 体		本 社		上古賀倉庫		永山倉庫		各現場	
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /百万円)	165.9	186.7	18.6	17.0	6.0	5.0	9.2	10.8	132.1	153.9
2.電気使用量の削減 (kWh/百万円)	69.1	60.0	42.6	32.6	7.1	4.9	16.3	13.9	3.1	8.6
3.ガソリン使用量の削減 (L/百万円)	31.2	28.9	1.2	0.9	1.0	0.7	1.4	1.9	27.6	25.4
4.軽油使用量の削減 (L/百万円)	26.2	35.4			0.3	0.4			25.9	35.0
5.灯油使用量の削減 (L/百万円)	0.14	0.3	0.03	0.02	0.11	0.0			0	0.3
6.液化石油ガス(LPG)使用量の削減 (kg/百万円)	0.02	0			0.02	0				
7.水道水使用量の削減 (m/百万円)	0.40	0.3	0.2	0.2	0.03	0.07	0.13	0.05		
8.地下水使用量の削減 (m/百万円)	0.2	0.4			0.2	0.1			0	0.3
9.一般廃棄物排出量の削減 (m/百万円)	0.07	0.05	0.07	0.05						
10.産業廃棄物排出量の削減 (m/百万円)	2.48	4.8			0.11	0.09			2.37	4.7

7. 環境経営目標の達成状況とその評価

	項目	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		目標達成状況	評価	目標達成状況	評価	目標達成状況	評価	目標達成状況	評価
全社	1.二酸化炭素排出量の削減	△	電気、ガソリン、軽油の使用量がどの分野でも増加しており二酸化炭素の削減は出来ていない。原単位でも増加している。	△	電気、ガソリン、軽油の使用量がどの分野でも増加しており二酸化炭素の削減は出来ていない。原単位でも増加している。	△	電気、ガソリン、軽油の使用量がどの分野でも増加しており二酸化炭素の削減は出来ていない。原単位でも増加している。	○	電気、ガソリン、軽油の使用量がどの分野でも増加しており二酸化炭素の削減は出来ていない。原単位で比較すると減少している。
	2.電気使用量の削減	△	どの分野でも増加しており電気使用量の削減は出来ていない。原単位で比較しても増加している。	○	どの分野でも増加しており電気使用量の削減は出来ていない。原単位で比較すると減少している。	○	どの分野でも増加しており電気使用量の削減は出来ていない。原単位で比較すると減少している。	△	どの分野でも増加しており電気使用量の削減は出来ていない。原単位で比較しても増加している。
	3.ガソリン使用量の削減	△	ガソリン使用量は増加している。原単位で比較しても増加している。	○	ガソリン使用量は増加しているが原単位で比較したら減少している。	○	ガソリン使用量は増加しているが原単位で比較したら減少している。	△	ガソリン使用量は増加しているが、原単位で比較するとほとんど変わらない。
	4.軽油使用量の削減	△	各現場でのボーリング作業が多かったため、軽油使用量が大きく増加している。原単位で比較しても増加している。	△	各現場でのボーリング作業が多かったため、軽油使用量が大きく増加している。原単位で比較しても増加している。	△	各現場でのボーリング作業が多かったため、軽油使用量が大きく増加している。原単位で比較しても増加している。	◎	軽油使用量および原単位数量で減少している。
	5.灯油使用量の削減	—	5月～7月期間中は使用していない。	—	8月～10月期間中は使用していない。	×	今期はエアコンを設置していない現場事務所が多かったため、灯油使用量が増加している。	○	昨年と同様な少量の使用量となっており、微減となっている。
	6.液化石油ガス(LPG)使用量の削減	—	5月～7月期間中は使用していない。	—	8月～10月期間中は使用していない。	—	11月～1月期間中は使用していない。	—	2月～4月期間中は使用していない。

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

項目	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
	目標達成状況	評価	目標達成状況	評価	目標達成状況	評価	目標達成状況	評価
7.水道水使用量の削減	△	上古賀倉庫で使用量の増加がみられるが、ほかの分野では概ね減少している。	×	上古賀倉庫で使用量の増加がみられるが、ほかの分野では概ね減少傾向にある。(上古賀で一時的な構造物の水洗いを実施)	◎	どの分野も減少傾向にあり、概ね目標達成できたと思う。	◎	どの分野も減少傾向にあり、目標達成できたと思う。
8.地下水使用量の削減	○	地下水使用量は増加しているが、原単位で比較したら減少している。	×	井戸内の集排水ポーリング工で地下水を多量に使用したため大きく使用量が増加した。	×	上古賀では冬期休業前に社用車を洗車した。またアンカー工では地下水を大量に使用したため使用量が増加した。	△	上古賀での使用量は微増しているが、原単位で比較したら基準月の使用量と同等程度である。
9.一般廃棄物排出量の削減	○	本社から発生する一般廃棄物は少量ではあるが減少している。	○	本社から発生する一般廃棄物は少量ではあるが減少している。	○	本社から発生する一般廃棄物は少量ではあるが減少している。	○	本社から発生する一般廃棄物は少量ではあるが減少している。
10.産業廃棄物排出量の削減	×	2箇所の現場で大量の伐採作業があったため、木くずの搬出量が大きく増加している。	◎	産廃が発生する現場が少なかったため、大きく減少した。	×	法面工現場で大量の伐採作業があったため、木くずの搬出量が大きく増加している。	△	4月期に上古賀倉庫の整理をしており、廃プラ等の産廃が発生している。
11.各現場における顧客・第三者クレームゼロ化	◎	5月～7月期間中に顧客・第三者からのクレームはない。	×	8月に水田耕作者からクレーム1件あり(榎ノ谷災害)	◎	11月～1月期間中に顧客・第三者からのクレームはない。	◎	2月～4月期間中に顧客・第三者からのクレームはない。
12.地域貢献活動の推進	×	当初8月中旬に予定していたが、天候を考慮し9月に延期した。	◎	9月4日に実施	◎	12月10日に実施	◎	4月8日に実施
13.環境教育の推進	○	各部署月1回の会議を行い、環境教育の推進が概ねできた。	○	各部署月1回の会議を行い、環境教育の推進が概ねできた。	○	各部署月1回の会議を行い、環境教育の推進が概ねできた。	○	各部署月1回の会議を行い、環境教育の推進が概ねできた。

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

8. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減



取組目標	区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 電気使用量の削減	本各各 社倉現 庫場	富岡	1 昼休みまたは不要な時は本社の照明は消灯する。	石橋	◆	◆	◆	◆
			2 就業時間外はパソコンの電源をOFFにする。		◆	◆	◆	◆
			3 エアコンの設定温度を夏28℃、冬22℃を目標とする。		◆	◆	◆	◆
			4 永山倉庫（試験室）をLEDライトに変更し節電に努める。		◆	◆	◆	◆
2 ガソリン使用量の削減	本各各 社倉現 庫場	富岡	1 年内にハイブリッド車を2台購入する。	中島	◆	◆	◆	◆
			2 過積載防止に努め、月1回タイヤ空気圧をチェックする。（ガソリンスタンド）		◆	◆	◆	◆
3 軽油使用量の削減	各各 倉現 庫場	富岡	1 リース機械など省エネ、排対型を積極的に使用する。	中島	◆	◆	◆	◆
			2 建設機械使用時は最大出力70%以下で作業する。		◆	◆	◆	◆

2. 廃棄物排出量の削減



取組目標	区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 一般廃棄物排出量の削減	本 社	富岡	1 コピーするときは出来るだけ両面コピーとする。	石橋	◆	◆	◆	◆
			2 分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。		◆	◆	◆	◆
2 産業廃棄物排出量の削減	各各 倉現 庫場	富岡	1 分別を徹底し、再利用できるものは保管しておく。	中島	◆	◆	◆	◆
			2 産廃から金属物を採取し、出来るだけ有価物とする。		◆	◆	◆	◆

3. 水使用量の削減



取組目標	区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 水使用量の削減	本各各 社倉現 庫場	富岡	1 コップ等を洗うときは、水を出しっぱなしにしない。	石橋	◆	◆	◆	◆
			2 水栓を全開せず、バルブ調整を行い節水する。		◆	◆	◆	◆

4. 地域貢献活動の推進



取組目標	区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 社内外清掃	本 社	富岡	1 年に3回、本社周辺の清掃活動を実施する。	石橋	◆	◆	◆	◆
			2 週に1回、デスク周りの整理・整頓を実施する。		◆	◆	◆	◆

5. 環境教育



取組目標	区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール			
					5~7月	8~10月	11~1月	2~4月
1 環境経営の推進	本 社	富岡	1 社内掲示板にエコアクションの進捗状況を掲載する。	黒木	◆	◆	◆	◆
			2 毎月1度各部署において環境教育訓練等を行う。		◆	◆	◆	◆
			3 産業廃棄物管理票について電子マニフェストを導入する。		◆	◆	◆	◆

9. 環境経営計画の実施状況とその評価

○本社

(期間：2021.5月～2022.4月)

二酸化炭素排出量の削減

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 電気使用量の削減	1 昼休みまたは不要な時は本社の照明は消灯する。	◎	・昼休みや不要な時の照明の消灯は十分にできている。また、エアコンの温度設定も全室28℃設定とした。	◎	・昼休みや不要な時の照明の消灯は十分にできている。また、エアコンの温度設定も全室28℃設定とした。	◎	・昼休みや不要な時の照明の消灯は十分にできている。また、エアコンの温度設定も全室22℃設定とした。	◎	・昼休みや不要な時の照明の消灯は十分にできている。
	2 就業時間外はパソコンの電源をOFFにする。	△	・時間外のパソコン電源OFFは3、4名程度出来ておらず、注意喚起を徹底したい。	△	・時間外のパソコン電源OFFは未だに3、4名程度出来ておらず、これからも注意喚起を徹底したい。	△	・時間外のパソコン電源OFFはだいぶ出来ようになったが、これからも注意喚起を徹底したい。	○	・時間外のパソコン電源OFFは数人が出来ていないが、概ねできるようになってきた。
	3 エアコンの設定温度を夏28℃、冬22℃を目標とする。	○	・試験室のLEDライト交換については、協議中であり、12月末までには取換える予定である。	○	・試験室のLEDライト交換は、9月に取換完了。	◎	・エアコンの温度設定については12月より、22℃設定とした。本社各部署も目標を達成。	◎	・エアコンの温度設定については21～22℃設定が出来た。
2 ガソリン使用量の削減	1 年内にハイブリッド車を2台購入する。	×		○	・9月にハイブリッド車を1台購入。(No16-25プロボックス)	◎	・12月にハイブリッド車を1台購入。(No20-16プロボックス)	-	・タイヤの空気圧チェックは社用車の点検簿を整備したので、目視確認はかなりできている。
	2 過積載防止に努め、月1回タイヤ空気圧をチェックする。	○	・全社員概ね燃費向上を意識して取り組めたと思う。	△	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思うが、タイヤの空気圧チェックは少人数しか行っていない。	△	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思うが、タイヤの空気圧チェックは少人数しか行っていない。	○	

廃棄物排出量の削減

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 一般廃棄物排出量の削減	1 コピーするときは出来るだけ両面コピーとする。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。(コピー用紙は削減)
	2 分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。	○		○		○		○	

水使用量の削減

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 水使用量の削減	1 コップ等を洗うときは、水を出しっぱなしにしない。	◎	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	◎	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	◎	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めた。結果として水道水の使用量減少につながった。	◎	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めた。結果として水道水の使用量減少につながった。
	2 水栓を全開せず、バルブ調整を行い節水する。	◎		◎		◎		◎	

地域貢献活動の推進

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 社内外清掃	1 年に3回、本社周辺の清掃活動を実施する。	×	・本社周辺の清掃活動を当初は8月上旬に予定していたが、熱中症防止のため9月上旬に延期した。	◎	・9月4日実施	◎	・12月10日実施	◎	・4月8日実施
	2 週に1回、デスク周りの整理・整頓を実施する。	△	・約2割の社員がデスク周りの整理・整頓ができていない。定期的に週末、ラインを送信して社員に整理・整頓をするように促す。	△	・数名の技術課員がデスク周りの整理・整頓ができていない。今後も整理・整頓をするように促したい。	△	・数名の技術課員がデスク周りの整理・整頓ができていない。今後も整理・整頓をするように促したい。	○	・概ね達成できたが、100%ではないので今後も注意を促したい。

環境教育

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 環境経営の推進	1 社内掲示板にエコアクションの進捗状況を掲載する。	○	・エコアクションの進捗状況を社員に回覧板を通じて知らせている。また、各部署の部会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。	○	・エコアクションの進捗状況を社員に回覧板を通じて知らせている。また、各部署の部会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。	○	・エコアクションの進捗状況を社員に回覧板を通じて知らせている。また、各部署の部会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。	○	・エコアクションの進捗状況を社員に回覧板を通じて知らせている。
	2 1ヶ月に1度各部署において、環境教育訓練等を行う。	○	・各部門会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。	○	・各部門会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。	○	・各部門会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。	○	・各部門会でも環境教育を行いコミュニケーションをとっている。
	3 産業廃棄物管理票について電子マニフェストを導入する。	×	・電子マニフェストの導入化は10月を目前に勉強会(技術課)を行い、出来れば12月くらい導入を目指している。	×	・電子マニフェストの導入化に向けて10月に講習会(佐賀)に2名参加。総合的にみて2022年4月から導入する。	×	・電子マニフェストの導入化に向けて3月末から技術課内で勉強会を実施予定。2022年4月～5月から導入する。	△	・電子マニフェストの導入(5月10日JWNETに申請中)

○各倉庫

二酸化炭素排出量の削減

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 電気使用量の削減	1 永山倉庫（試験室）をLEDライトに変更し節電に努める。	×	・試験室のLEDライト交換については協議中であり、遅くとも12月末までには取り換える予定である。	◎	・試験室のLEDライト交換については9月に取り換え完了。	-		-	
2 ガソリン使用量の削減	1 過積載防止に努め、月1回タイヤ空気圧をチェックする。	○	・全社員概ね燃費向上を意識して取り組めたと思う。	△	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思うが、タイヤの空気圧チェックは少人数しか行っていない。	△	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思うが、タイヤの空気圧チェックは少人数しか行っていない。	○	・タイヤの空気圧チェックは社用車の点検簿を整備したので、目視確認はかかなりできている。

廃棄物排出量の削減

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 一般廃棄物排出量の削減	1 分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。

○各現場

二酸化炭素排出量の削減

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 ガソリン使用量の削減	1 過積載防止に努め、月1回タイヤ空気圧をチェックする。	○	・全社員概ね燃費向上を意識して取り組めたと思う。	△	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思うが、タイヤの空気圧チェックは少人数しか行っていない。	△	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思うが、タイヤの空気圧チェックは少人数しか行っていない。	○	・タイヤの空気圧チェックは社用車の点検簿を整備したので、目視確認はかかなりできている。
2 軽油使用量の削減	1 リース機械など省エネ、排対型を積極的に使用する。	◎	・技術部会で周知徹底している。概ね取り組めたと思う。	◎	・技術部会で周知徹底している。ほぼ取り組めたと思う。	◎	・技術部会で周知徹底している。ほぼ取り組めたと思う。	◎	・技術部会で周知徹底している。ほぼ取り組めたと思う。
	2 建設機械使用時は最大出力70%以下で作業する。	◎		◎		◎			

廃棄物排出量の削減

取組目標	達成手段	5月～7月		8月～10月		11月～1月		2月～4月	
		実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価	実施状況	評価
1 一般廃棄物排出量の削減	1 分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。	○	・全社員概ねエコ意識を持って取り組めたと思う。
2 産業廃棄物排出量の削減	1 分別を徹底し、再利用できるものは保管しておく。	△	・5～7月期の産廃は伐採木（木くず）が殆どで分別できるものは少なかった。	△	・8～10月期の産廃は伐採木（木くず）が殆どで分別できるものは少なかった。	△	・11～1月期の産廃は伐採木（木くず）が殆どで分別できるものは少なかった。	△	・2月～4月は分別は出来たが、再利用できるものは少なかった。 ・金属くずは有価物として処分出来た。
	2 産廃から金属物を採取し、出来るだけ有価物とする。	△		△		△		○	

10. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

○本社

二酸化炭素排出量の削減

取組目標		達成手段	担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	電気使用量の削減	1 昼休みまたは不要な時は本社の照明は消灯する。	石橋	◎	概ね実行できたと思う。少しずつ社員にも「エコ活動」に対する意識が高まっているように感じる。就業時間外のパソコン電源OFFは数名が達成できなかった。(上半期)	・もっと社員にエコ活動の意識を高めさせ、目標を継続して取り組む。次年度は上古賀倉庫にLEDライトの導入も考えたい。
		2 就業時間外はパソコンの電源をOFFにする。		△		
		3 エアコンの設定温度を夏28℃、冬22℃を目標とする。		○		
2	ガソリン使用量の削減	1 年内にハイブリッド車を2台購入する。	石橋	◎	目標値以上の燃費向上を達成できたが、社用車のタイヤ空気圧の点検が思うように実行されていない。	・社用車の燃費向上については新たな目標を設定し取り組んでいきたい。社用車の定期点検を強化していきたい。
		2 過積載防止に努め、こまめにタイヤ空気圧をチェックする。		△		

廃棄物排出量の削減

取組目標		達成手段	担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	一般廃棄物排出量の削減	1 コピーするときは出来るだけ両面コピーとする。	石橋	○	両面コピーを積極的に行うことができ、大きくコピー枚数の削減が出来た。紙、ペットボトル、段ボール等を分別し、リサイクルに努めることが出来た。	・コピーに関しては裏紙コピーの出来る限り導入していきたい。その他の目標についても継続して目標に取り組む。
		2 分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。		○		

水使用量の削減

取組目標		達成手段	担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	水使用量の削減	1 コップ等を洗うときは、水を出しっぱなしにしない。	石橋	◎	全体的に水道水の削減については概ね達成された。地下水については使用量が増えているので、次年度は注視していく。	・継続して水使用削減に取り組む。
		2 水栓を全開せず、バルブ調整を行い節水する。		◎		

地域貢献活動の推進

取組目標		達成手段	担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	社内外清掃	1 年に3回、本社周辺の清掃活動を実施する。	石橋	◎	本社周辺の清掃作業は9月、12月、4月に実施出来た。週1回のデスク周りの清掃については、前年度よりも良くできたと思う。	・継続して目標に取り組む。次回の本社周辺の清掃活動は、9月に予定。 ・デスク周りの清掃については全社員にもっと徹底させる。目標は継続。
		2 週に1回、デスク周りの整理・整頓を実施する。		○		

環境教育

取組目標		達成手段	担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	環境経営の推進	1 社内掲示板にエコアクションの進捗状況を掲載する。	黒木	○	・エコアクションの進捗状況を全社員に知らせるため、社内掲示板に掲載し、また社内回覧文書として閲覧させ、周知した。 ・月1回の部門会議や、ドローン、測量器械の技術的講習も実施出来た。電子マニフェストの導入は少し予定よりも遅れたが、5月に導入した。	・ドローン及び測量器械の技術的講習については、これからも定期的実施し、目標は継続する。また、電子マニフェストでの管理にも勉強会を行い実践していきたい。
		2 1ヶ月に1度各部署において、環境教育訓練等を行う。		○		
		3 産業廃棄物管理票について電子マニフェストを導入する。		△		

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

○各倉庫

二酸化炭素排出量の削減

取組目標		達成手段		担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	電気使用量の削減	1	永山倉庫（試験室）をLEDライトに変更し節電に努める。	中島	◎	9月にLEDライトに取り換え完了。	・目標を継続して取り組む。次年度は上古賀倉庫にLEDライトの導入も考えたい。
2	ガソリン使用量の削減	1	過積載防止に努め、こまめにタイヤ空気圧をチェックする。	中島	△	目標値以上の燃費向上を達成できたが、社用車のタイヤ空気圧の点検が思うように実行されていない。ハイブリッド車2台を購入し目標達成出来た。	・社用車の燃費向上については新たな目標を設定し取り組んでいきたい。社用車の定期点検を強化していきたい。

廃棄物排出量の削減

取組目標		達成手段		担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	一般廃棄物排出量の削減	1	分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。	中島	○	両面コピーを積極的に行うことができ、大きくコピー枚数の削減が出来た。紙、ペットボトル、段ボール等を分別し、リサイクルに努めることが出来た。	・コピーに関しては裏紙コピーの出来る限り導入していきたい。その他の目標についても継続して目標に取り組む。

○各現場

二酸化炭素排出量の削減

取組目標		達成手段		担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	ガソリン使用量の削減	1	過積載防止に努め、こまめにタイヤ空気圧をチェックする。	中島	△	目標値以上の燃費向上が達成できたが、社用車のタイヤ空気圧の点検が思うように実行されていない。	・社用車の燃費向上については新たな目標を設定し取り組んでいきたい。社用車の定期点検を強化していきたい。
2	軽油使用量の削減	1	リース機械など省エネ、排対型を積極的に使用する。	中島	◎	リース機械はすべて排気ガス対策型を使用した。発電機、コンプレッサーもエコ運転が出来た。	・継続して目標に取り組む。
		2	建設機械使用時は最大出力70%以下で作業する。		◎		

廃棄物排出量の削減

取組目標		達成手段		担当者	実施状況	取組の評価	次年度の取組計画
1	一般廃棄物排出量の削減	1	分別を徹底しリサイクルに積極的に努める。	中島	○	両面コピーを積極的に行うことができ、大きくコピー枚数の削減が出来た。紙、ペットボトル、段ボール等を分別し、リサイクルに努めることが出来た。	・コピーに関しては裏紙コピーの出来る限り導入していきたい。その他の目標についても継続して目標に取り組む。
2	産業廃棄物排出量の削減	1	分別を徹底し、再利用できるものは保管しておく。	中島	○	上古賀倉庫、各現場において産廃の分別は概ね出来た。産廃からの有価物採取はとても難しいと感じた。	・産廃の分別は継続して取り組むが、産廃の削減については、達成手段について協議する必要がある。
		2	産廃から金属物を採取し、出来るだけ有価物とする。		△		

◎・・・良く出来た ○・・・概ね出来た △・・・あまり出来なかった ×・・・ほとんど出来なかった

11. 環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無

- 1、 遵守状況をチェックした結果、環境関連法規の違反はありません。
- 2、 過去3年間にわたり、関係機関からの違反等の指摘及び訴訟はありません。

No.	環境関連法規名	法的要求事項の内容及び基準	遵守状況	チェック日付
1	産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管基準の遵守	○	2022.5.20
		産業廃棄物の収集、処理委託基準の遵守	○	2022.5.20
		産業廃棄物管理責任者の設置	○	2022.5.20
		産業廃棄物管理票による管理	○	2022.5.20
		産業廃棄物の処理に関する事項の報告	○	2022.5.20
		産業廃棄物管理票の写しの保存	○	2022.5.20
		管理票交付者の報告書	○	2022.5.20
		排出事業者の責任遵守	○	2022.5.20
2	騒音規制法	特定施設の届出	○	2022.5.20
		規制基準の遵守	○	2022.5.20
3	振動規制法	特定施設の届出	○	2022.5.20
		規制基準の遵守	○	2022.5.20
4	フロン排出抑制法	特定製品のフロン類のみだり放出禁止	○	2022.5.20
		空調機の簡易点検	○	2022.5.20
		引取証明書の保存義務（3年間）	○	2022.5.20
5	労働安全衛生法	医師による健康診断の実施	○	2022.5.20
6	建設リサイクル法	工事概要等の通知	○	2022.5.20

12. 代表者による全体評価と見直し・指示

- 環境経営方針について

環境への意識も高まっており、しばらくは現状の方針に沿ってマネジメントに取り組めます。新年度では本活動を下地として、具体的なSDGs活動に取り込んでいきます。

- 環境経営目標・環境経営計画について

1年間の活動でデータが蓄積されました。新年度はこれを基に目標値の設置を行います。環境経営計画については、継続してこれを行い、必要に応じて追加・変更等を検討します。現状では変更しなくて良いと思います。

- 全体評価

環境に対する社会認識の高まりに応え、企業の社会的責任として、また地域の環境保全や調和を積極的に行うため、『エコアクション21』の取組みに参加しました。まずは1年間取り組んでみて、委員会のあり方や目標の設定などの課題が浮かんできました。全社員間で取組状況の温度差はあるものの、間違いなくCO₂排出量は減量化しています。今後も全社を上げ、少しずつ積み重ねていき成果を上げていきます。

2022年 5月 23日

株式会社 扶桑エンジニアリング

代表取締役社長 永添 洋壱

13. 緊急事態の訓練状況

消防訓練の実施

実施日：令和3年12月28日

消火訓練状況

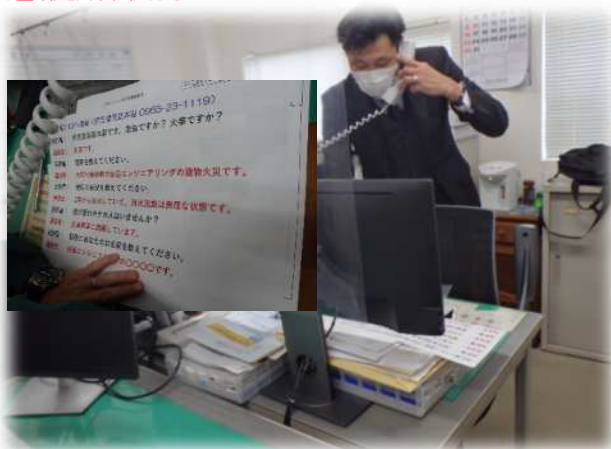


消火器使用要領の説明



消火器訓練中

通報訓練状況



通報訓練（営業部）

避難訓練状況



所定の避難所へ集合



社長へ避難完了の報告

現場における緊急事態想定訓練の実施

実施日：令和3年11月10日



訓練前のミーティング

オイルフェンスの確認



オイル漏れ部分の応急処置



オイルフェンス展開

オイル吸着マットによる油除去



14. 環境活動の取組み

EA21委員会の実施

○ 3ヶ月に1回、EA21委員会を開き、環境経営目標、計画の達成状況を評価しています。



2021 8月



2022 5月

EA委員会実施状況

本社周辺の清掃活動実施



○ 当社は15年ほど前より、本社周辺の清掃活動を4ヶ月に1回実施しています。最近では河川のゴミも減ってきた気がします。また、地域の皆さんによく「ご苦労さま」と声をかけていただきます。



清掃活動状況



CO₂排出量削減



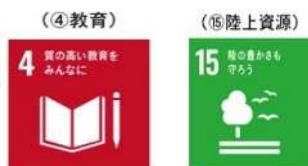
○ CO₂排出量削減を目的として、令和3年度にハイブリッド車を2台を購入しました。社員全員エコ運転に努めています。



トヨタ プロボックス 16-25
9月購入

トヨタ プロボックス 20-16
12月購入

社員のエコ活動への意識改革



○ 社員全員にエコ活動への意識向上を図るため、全社用車に自社作成のステッカーを取り付けました。



CO₂排出量削減

(11都市)



(13気候変動)



○ 全社用車の燃費向上を目指し、タイヤの空気圧チェックを定期的に行っています。



空気圧チェック状況



コンプレッサー

節水、節約

(6水・衛生)



(12生産・消費)



○ コップを洗う時は容器に水をため、水道水の出っぱなしを防いでいます。またコピーする時は、出来るだけ両面コピーを行い、資源の節約に努めています。



節水状況



両面コピー



表彰

佐賀県様より、「令和2年度 優良工事 県土整備部長表彰」を受賞しました。

- 工事名：嬉野下宿塩田線道路整備交付金工事（法面工）
- 場 所：嬉野市嬉野町下宿地内



〈主な工事内容〉

- アンカー工 N=26本
- 鉄筋挿入工 N=92本
- 吹付砕工（400×400）L=143m
- 吹付砕工（300×300）L=949m
- モルタル吹付工（t=8cm）A=271㎡



完成写真

NPO法人 九州環境カウンセラー協会様より、「2020年度 環境レポート 新人賞」を受賞しました。

